

岩盤浴ベッド 細菌・雑菌・カビ等 安全宣言

通常の岩盤浴施設は、床式のため室内をスチーム等により湿度を 80%くらいに維持して湿感を保っております。
そのために非常に雑菌の繁殖しやすい環境となり不衛生ですが、当岩盤浴ベッドは全く安心です。

- 1、湿度を上げることはしていませんので、カビや雑菌の発生しにくい環境です。
- 2、敷くタオルはその都度取り替えております。
- 3、毎日、特殊マイナスイオン調整液(国際特許取得)にて完全除菌しております。
※レジオネラ菌・サルモネラ菌・ビブリオ菌・セラチア菌・白癬菌・黄色ブドウ球菌・バンコマイシン・O-157・緑膿菌が
全てゼロです。(下記、検査成績書参照)
- 4、ベッドのドーム内に無光性光触媒 HS222(特許公開済)が搭載されています。これは、酸化チタンによるイオン化酸素が
空気中や湿気の水素と結合して空気中や湿気の中の雑菌を殺菌し、その結果消臭もします。

是非、雑菌やカビの心配のない清潔な岩盤浴ベッドで快適な岩盤浴を体験してください。

検査成績書 平成 14 年 9 月 25 日

- ・検査依頼:(株)エフコール 大阪市東成区大今里 2-2-32
- ・検査項目:雑菌効果判定試験
- ・検査資料:電解水 サロンサポート
- ・提供菌株:
 - 1、Pseudomonas aeruginosa 【ATCC 27853】
 - 2、Escherichia coli 【ATCC 25922】
 - 3、Enterococcus faecium(VRE) 【臨床材料由来 当社研究所分離株】
 - 4、Staphylococcus aureus(MRSA) 【臨床材料由来 当社研究所分離株】
 - 5、Penicillium sp 【環境由来 当社研究所分離株】
 - 6、Salmonella 07 【環境由来 当社研究所分離由来株】
 - 7、Serratia marcescens 【環境由来 当社研究所分離由来株】
 - 8、Vegionella pneumophila 【食品材料由来 当社研究所分離株】
- ・試験方法:室内温度 25°Cで電解水に、上記各種菌株を 10CFU/ml 程度に調整した菌液を投入した後、
時間毎に 1ml ずつ取り出して菌数の変化を測定した。

検査結果:

	直後	5分後	10分後	15分後	30分後
緑膿菌	0	0	0	0	0
O-157	1.1×10^2	2.0×10^1	0	0	0
バンコマイシン	0	0	0	0	0
黄色ブドウ球菌	0	0	0	0	0
白癬菌	0	0	0	0	0
サルモネラ菌	1.1×10^2	1.0×10^1	0	0	0
セラチア菌	0	0	0	0	0
ビブリオ菌	9.6×10^2	4.8×10^2	1.9×10^2	0	0
レジオネラ菌	0	0	0	0	0

- 1、緑膿菌 外傷での皮膚感染
- 2、O-157 腸管出血性大腸菌感染症
- 3、バンコマイシン 耐性球菌感染症
- 4、黄色ブドウ球菌 大腸炎感染症
- 5、白癬菌 - 水虫 水虫
- 6、サルモネラ菌 食中毒感染症
- 7、セラチア菌 呼吸器系感染症
- 8、ビブリオ菌 腸炎・食中毒
- 9、レジオネラ菌 肺感染症

検査機関:

(株)東邦微生物病研究所
大阪市浪速区下寺 3-11-14
厚生大臣大臣指定水質検査機関 112号
大阪府登録軽量証明事業第 10177号
大阪府登録建築物飲料水水質検査業
大阪市登録衛生検査第 9号
微生物検査担当 検査部長 西村公一